

## 連続観測にみる近畿地方の地殻変動

### Crustal Movements in Kinki District for the Last 30 years

# 重富 國宏[1]; 大谷 文夫[2]; 尾上 謙介[3]; 森井 互[4]; 中村 佳重郎[5]; 細 善信[6]; 和田 安男[7]

# Kunihiro Shigetomi[1]; Fumio Ohya[2]; Kensuke Onoue[3]; Wataru Morii[4]; Kajuro Nakamura[5]; Yoshinobu Hoso[6]; Yasuo Wada[7]

[1] 京大・防災研・地震予知; [2] 京大・防災研・地震予知; [3] 京大・防災研・地震予知研究センター; [4] 京大・防災研・地震予知; [5] 京大・防災研; [6] 京大・防災研・地震予知センター; [7] 京大・防災研・上室

[1] RCEP, DPRI, Kyoto Univ; [2] RCEP,DPRI,Kyoto Univ; [3] Research Center for Earthquake Prediction,Kyoto Univ; [4] RCEP, DPRI, Kyoto-Univ.; [5] DPRI,Kyoto Univ.; [6] RCEP, DPRI, Kyoto Univ.; [7] Disa. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ.

京都大学防災研究所では、地殻変動連続観測として坑道内の伸縮計、傾斜計による地殻歪・傾斜の観測を30年前後続けている。逢坂山、屯鶴峯、阿武山、天ヶ瀬などの各観測所によるこれまでの観測結果から、この期間の経年変化を各点に共通な広域的なものと同観測点固有なものに分離を試みた。広域的なものにはさらに共通な気象要素や潮位の影響とテクトニックな変動を反映した部分とが含まれていると考えられる。これらの解析を通じて、以前から指摘されている時間的な節目の存在、あるいは周期性/移動性とみられる変動についての解析結果を報告する。